

愛知県立にしお特別支援学校で防災講座を行いました

令和8年7月7日（火）、愛知県立にしお特別支援学校で高等部1～3年生約80名に防災講座を行いました。

講座では、西尾市でも被害のあった伊勢湾台風、昭和28年台風13号、東海豪雨など過去の水害や線状降水帯、新たな防災気象情報などについて学習しました。西尾市内にある坂田神社には、当時の坂田新田の様子を記した昭和28年台風13号にまつわる水害記念碑が建立されています。

また、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験も行いました。VR体験には多くの希望者があり、立体感のある映像と音に驚いていました。A1語り部には「どのくらい風が強かったのですか?」「有効的な対策方法はありますか?」「一番被害にあった県はどこですか?」などの質問をしていました。特に、ペットボトルを使った竜巻・雲をつくる実験では、楽しみながら、強い関心を持って行う様子が見られました。代表の生徒さんからは、「講座を受講して、とても勉強になりました。これからは自分や家族、周りの人を大切にしていきたいです。」との感想がありました。

最後に、先生から生徒に向けて、「今日のことを家族に伝えて、ハザードマップで浸水深を確認したり、日頃から災害に対して準備をしていきましょう。」と呼びかけがありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、当日は愛三時報の取材がありました。

